

# 怒りの抗議交渉を行う

## 11月12日錦糸町駅 電留線脱線事故に対する

**当局こそ責任をとって、保安設備を直ちに改善せよ**  
11月12日発生した錦糸町駅電留線での脱線事故に対し、われわれは、11月26日日本  
部交渉部・各支部代表・乗務員分科会および千葉運転区支部乗務員を含め、14時よ  
り怒りの抗議交渉を行った。

### 『当局回答』を怒りをもって弾劾する

事故発生の「原因説明」と  
称する当局の説明は、一切の  
責任は運転士にあることを前  
提とした、「今後の対策は、  
教導運転士・見習いに対し、指  
導方・教育の徹底を計り、当  
該箇所手前に注意を促す標識  
を設置する。」というものであ  
る。なんと、これが「すべて」  
である！  
これこそ、保安施設の欠陥  
に対する当局側の責任の一切  
をぬりかくし、「起った事」の  
責任を全てわれわれにおしつ  
けるという、断じて許せぬ責

任転嫁以外の何ものでもない。  
この抗議交渉でより明らか  
になった事は、  
**オ一に**、当局が絶対的であ  
ると明言していたATCの  
重大な欠陥  
**オ二に**、電留線の有効長が  
15両収容には短かすぎる。  
**オ三に**、車止めの7m手前  
にきて⊗信号(停止)がやっ  
と作用するというおざなり  
な保安装置の欠陥があった。  
という事であり、「56.10  
ダイヤ改でわれわれの指摘し  
た通りの事が起った」といえる。

### 合理化強行「保安無視の欠陥構造(錦糸町電留線)」

このように「事故発生」の真の  
原因は、営利優先のみを追求する  
国鉄当局が、錦糸町電留線構内  
の手狭な現更を無視し何んら  
有効な安全策を講ぜぬままに  
列車15両編成化を強行したと  
ころにある。

乗務員に責任を転嫁  
することのみの許し  
難い攻撃である。  
**運転士への事故責任  
転嫁を絶対許すな**  
今回の事故発生は、我々  
が過去組織を上げて叩き抜  
いた船橋事故(ATC)と同質  
の欠陥であり、保安施設の欠  
陥による起るべくして起った  
事故である。われわれの「  
この『保安装置』は何の目的  
で設置されているのか」とい  
う質問に対して、当局は一言  
も回答できず、実際に何の役  
目もはたしてないことを暴  
露したのである。それを承  
知で乗務員に事故の責任を

### 運転保安体制を確立せよ！ 事故の元凶 国鉄35万体制粉碎！

抗議交渉における我々の  
追及・要求は、  
**オ一に**、錦糸町電留線は欠  
陥電留線であり、早急に、  
15両化にみあった有効長お  
よび過走余裕距離を延長す  
ること。  
**オ二に**、ATCを今後も使  
用する場合は、ストツプ線  
の保安対策を早急に確立す  
ること。  
**オ三に**、措置としての運転  
の取扱い方を検討すること。  
以上三点にわたって当局  
に強くせよ。

考えても見よ、国鉄当局  
が「ATCは保安装置としてATC  
より安全性が高い」と何度主張  
しようとも、過走余裕距離が11m  
しかない現更に目をそむける  
かぎり事故の再発を防ぐすべ  
はないのである。しかも、この  
問題点をぬきにしてまたどう  
「乗務員への指導・教育を徹底する」  
等とは真の事故防止策ではなく、

乗務員への事故責任転嫁  
を絶対許すな、当局は直  
ちに保安設備を改善せよ、  
すべての組合員の皆さん、  
事故の元凶「国鉄35万体制  
合理化を一つ一つ粉碎し、  
運転保安闘争を更に強化し  
叩いぬこう、  
乗務員への事故責任転嫁  
を絶対許すな、当局は直  
ちに保安設備を改善せよ、